

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 22 年 01 月 29 日

審査機関名 日本検査キューエイ株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	ボイラーの効率化と天然ガス化による温室効果ガス削減事業
承認番号	JCDM-PJ0029
排出削減事業者名	アルバック成膜株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社三井住友銀行 三井住友ファイナンス&リース株式会社 (その他関連事業者) 株式会社サイサン
事業実施場所	アルバック成膜株式会社本社・工場 (埼玉県秩父市寺尾 2804 番地)
事業の概要	ガスボイラー (高効率) への設備更新と A 重油から天然ガスへの燃料転換により二酸化炭素排出量を削減する
排出削減量の計画	784 t CO ₂ /年 (事業実施期間合計 3,321tCO ₂)
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 01 月 05 日 終了予定日 2013 年 03 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2009 年 04 月 01 日～2009 年 12 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	544 t CO2 (2009年04月01日～2009年12月31日)
-------	-------------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<ol style="list-style-type: none"> 1) 対象期間中の設備稼働確認 2009年01月05日の稼働開始以来、対象期間の2009年04月01日～12月31日を通じ、該当設備が稼働・運用されていることを、ボイラー点検日誌、ボイラー別燃料使用量集計表、および現地での視認により確認した。 2) その他、本事業の排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<ol style="list-style-type: none"> 1) モニタリング方法の確認 承認された事業計画に従って、燃料供給事業者の請求書に基づき把握されており、使用量との誤差も算定期間で最大4.8%と許容範囲内であることを確認した。 2) 活動量の正確性 本削減事業において活動量・原単位指標は用いていない。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 国内クレジット制度、排出削減方法論の別紙（修正日：平成21年11月2日）のデフォルト値採用を確認。 4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量は承認された事業計画に従って算定されており、算定結果も正確であることを確認した。また、算定においても本事業の排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
算定期間が2013年3月31日を超えないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 算定期間は、2009年12月31日までであり、2013年03月31日を超えていない。

5. 特記事項

特に無し。

以上